



統計調査員 について知ろう

「こんにちは。調査員です。」

あなたの家に、会社に、「調査員」と名乗る人物がやってきて、調査に協力してほしいと言われるかもしれません。

そして、あなたの家計、あなたのお仕事の状況、あなたの会社の給与情報、あなたのお店の商品の価格……について聞かれるかもしれません。

見知らぬ人にこのような情報を聞かれたら、答えていいのか不安ですよ。そのように思うのは、「調査員」に馴染がないからではないでしょうか。



そこで、今回は統計調査と切っても切れない関係にある**「調査員」**について紹介します！

まず確認

統計調査員は、調査ごとに大臣や都道府県知事などに任命される非常勤の公務員で、「調査員証」という身分証のようなものが与えられています。

もし、あなたが調査員と名乗る人物に出会ったら、まず調査員証を持っているか確認してください。

調査員証を携帯していない場合、統計調査員になりすましている可能性があります！



回答しても大丈夫？

統計調査員をはじめとする調査関係者には、統計法により調査内容についての守秘義務が課せられています。調査で得た情報が、統計以外の目的に使われることはありませんので、安心して御回答ください。

どこに送られるの？

調査員は調査対象となった世帯や事業所に対し、調査票の記入依頼・配布・回収などを行い、県又は市町に調査票を提出します。その後、県又は市町は、回収された調査票の記入内容に不備がないかを確認し、国へ送ります。(統計局が県や市町を通じて行う調査員調査の場合)

調査員さんにインタビュー



統計調査員について身近に感じてもらうため、調査員の方にインタビューを行いました！



【A 調査員】調査員経験：20年 担当した調査：家計調査、毎月勤労統計調査、国勢調査 調査をする際に心がけていること

根気・忍耐・知恵を持って、人間関係の和を大切にすることを意識し「挨拶」をするように心がけています。
どんな調査対象の方に対しても感情的にならず、同じように接しています。

調査をするなかで大変だったこと

調査そのものが大変な業務だと思っています。特に、調査活動は人との関係が大切です。誰も自分の代わりに活動することができないので大変だと思いますが、自分のペースで作業できるという良い点もあります。

今後の目標

現在私が担当している家計調査以外にも、調査対象の相手には、住宅・土地統計調査、経済センサス、就業構造基本調査、国勢調査などに今後協力してもらうことがあります。誰もが調査に協力するのが当たり前の世の中になってほしいので、「今回だけは、協力してほしい」と相手をお願いするのではなく、様々な調査に協力するための第一歩になるように調査員として依頼していきたいです。



【B 調査員】調査員経験：10年 担当した調査：家計調査、労働力調査、国勢調査 調査をする際に心がけていること

必要以上に自分のことは話題にせず、相手の話をしっかり聞く。華美でない服装で接する。相手の方に好意を持って接する。正しい調査であるように、このような努力をしています。

やりがいを感じる時

調査が難しいと感じた相手と心が通じたときや、調査が完了して調査票を提出した後に達成感があります。

調査員活動で身についたこと

対人関係を能動的に良くするための洞察力や的確な返答を心がける余裕、地理感覚、計画性が身につきました。
人や物事の多様性を理解できるようになりました。

このような人が調査員に向いている

人との関わりや経験のなかで、自分の不足箇所や是非正点に気づくことができる人

まとめ

統計調査員がみなさんから得た情報や回収した調査票がまとめられて「統計」として公表されます。その統計が、みなさんの生活に活かされているため、統計調査員は統計調査の中で重要な役割を担っているといえます。

統計調査員が調査の依頼に伺った際には、御協力をお願いいたします。

出典：「なるほど統計学園」https://www.stat.go.jp/naruhodo/14_kuwashii/jisshi.html

「総務省統計局」https://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/index/seido/2-7-1.html#a1